

11月3日（火・祝）文化の日

東京都文化財ウィーク

はっけんのもりへ

ようこそ！2009

ニュース

みんなでつくろう！
しまやけべいせき
下宅部遺跡はっけんのもり

第98号【'09-10月号】

発行：下宅部遺跡
はっけんのもりを育てる会
東村山市諏訪町1-6-3
TEL：042-396-3800
発行日：平成21年10月9日

平成21年11月3日（火・祝）文化の日、東京都文化財ウィーク参加事業「はっけんのもりへようこそ！2009」を開催します。下宅部遺跡はっけんのもりがオープンして以来の恒例行事で、今年で5回目になります。今年「はっけんのもり」と5月にオープンした「八国山たいけんの里」の二カ所の会場を巡りながら、さまざまな縄文体験をすることができます。また、「たいけんの里」では、東京都指定文化財との「下宅部遺跡漆工関連出土品」の展示と展示解説を行います。写真入りカードも置いてあります。スタートは「はっけんのもり」。縄文服を着て、トングリを拾い集めてください。それを石皿でつぶします。火おこしをしたり、土笛を吹いてみましょう。縄文紙芝居もあります。午後は「八国山たいけんの里」に移動です。お昼には縄文食をどうぞ。トングリ団子汁を予定しています。トングリって美味しかったんだ、とビック



石皿体験（2008年）



縄文紙芝居（2008年）

リしますよ。キノコやヤマイモなど季節の山菜もたっぷりです。調味料は塩だけです。具材から出るおいしいエキスが味の決め手です。縄文人は食料を全部自分たちの手で調達していました。まずは狩りです。弓矢体験でシカやイノシシに挑戦です。漆塗り体験（合成漆）もあるよ。みんな来て下さい。待っています。

「はっけんのもりを育てる会」とは、下宅部遺跡を後世に残すためにつくられた遺跡公園「下宅部遺跡はっけんのもり」（所在地：東村山市多摩湖町4丁目3番地）の管理・運営と、下宅部遺跡および考古学一般についての知識を広めることを目的としています。そのための具体的な活動としては、「下宅部遺跡はっけんのもり」の除草・清掃、縄文体験を行う「開園周年イベント」「お誕生日会」と「東京都文

化財ウィーク」参加イベント。縄文土器づくり教室とその時に作成した土器を焼く縄文土器の野焼き。日帰り研修見学会と宿泊研修。はっけんのもりの生物調査や縄文食の材料となるトングリ拾い。遺跡に関する専門家の先生を招いての講演会。そして会の運営のための会議などを行ってまいります。また、有志による土器部会・アングリ部会があり、小学校への出前授業のお手伝いや、はっけんのもりでの案内も行っています。

開催日 平成21年11月3日（月・火・祝）
時間 午前10時から午後3時頃まで
場所 下宅部遺跡はっけんのもり
八国山たいけんの里
参加費 無料
問い合わせ ふるさと歴史館
042-396-3800

八国山たいけんの里
042-390-2161

第88回育てる会

宿泊研修見学会「福島県」報告

会津若松市・郡山市・白河市

福島県研修旅行

高縁 慎吉

福島県は東北への窓口。中心に位置する会津地区は、歴史的にも重要で知名度が高い。この会津を手始めに、郡山、白河と南下する「遺跡めぐり」となった。

25日（金）

1、福島県立博物館（学芸員による展示説明。会津若松市）

鶴ヶ城の旧三の丸跡地に建つ。来館者に展示物を見せる工夫がされている。広いが威圧感がない。古代への導入路として、タイムトンネル。正面には古墳に装飾された大壁画。幻想的な感覚に襲われる。原始、古代、中世、近世、近現代、福島の人々と人間と続く展示。

縄文の村での住居跡、炉跡等の生活



学芸員による展示説明

の様子。腰骨に刺さった、矢しりと生体反応跡。弥生の田んぼほどの石包丁。古墳から出た埴輪は傑作が多く、見飽きない。すべて身近に感ぜられる。

2、飯盛山（戊辰戦争）

年若き藩士の白虎隊、若者が自刃する。幕藩体制の維持、忠誠心と武士の

魂を持つ10代の若者。思想教育のなせる業か。

戊辰戦争で生き残った者は明治維新後も活躍。北方の地で開拓に苦勞した藩士たちもいる。

飯盛山の中腹に建つ「さざえ堂」（四国33観音、巡礼の建物）はユニークで楽しい。重要な仏堂である。

3、日新館（会津の藩校）

学問と各種武芸の鍛錬の場。

武士の子は十歳になると日新館に入学。六歳から九歳までの幼年者は、儒教に基づく七箇条からなる「什の掟」を守りながら入学を待つ。

当時日本最高の藩校。藩政の改革の中で教育の振興を掲げ、教育の義務化を確立。人材の育成を第一目標とした。白虎隊はこの藩校の出身者。

再現された教室の展示は緊張感がみなぎる。悲劇的な最後を考えるにつけ涙が出る。体験学習の場として座禅、弓道、茶道、講話は現在においても実施している。感動。

26日（土）

4、大安場史跡公園（国指定 大安場古墳 郡山市）



さざえ堂



白虎隊士の墓の前にて

東北最大の前方後方墳を擁する。郷土の歴史と文化の普及活動を通じ、郡山市民文化の向上を図るためと定義。65ヘクタールの公園は、全長83mの前方後方墳と直径15mの円墳を中心と



古墳上から見下ろしたガイダンス施設

して、ガイダンス施設と公園施設があり、それぞれ体験スペースを持つ。見たこともない広さ。手入れが良い。A、ガイダンス施設

出土した腕輪型石製品をモチーフにした建物。館内には古墳時代以前の資料もある。展示としては珍しい、手で触られる完形土器があった。持ち上げた重量感が伝わってくる。そして、阿武隈川流域最大級の古墳から出土した長大な木棺や腕輪型石製品（緑色凝灰岩）、武器、農具を展示している。展示は平易で解りやすい。小・中・高生徒の教育施設との考えが強い。実に楽しい。

出土した腕輪型石製品は、釧（くし）とも呼ばれる。縄文時代以来の装身具。元は貝製腕輪で時代を経て銅、鉄、ガラスや、その他金属で模倣される。同種のもものは、宝物、仏像の飾り具としても使用されてきた。

B、公園施設

発掘された古墳を利用した郡山市民憩いの場。遊びと冒険、勉強を兼ね備える。煮炊き、野焼きなどの専用施設を持つ。遊園地のように親子連れが多い。幼い頃から先人の功績に触れられる。

C、ボランティアとの意見交換会

開館してから半年、来館者の賑わいが多い。企画力の成功とボランティア活動の結果と考えられる。会員の活躍も自主的で素晴らしい。今後も楽しみ。

5、まほろん（福島県文化財センター

白河館の愛称。「優れた良いところ」の古語「まほろば」と「ロマン」を合成。白河市（学校教育活用の資料館（体験学習、特別展示）。文化財研修も行う。野外展示には、複式炉がある縄文時代の竪穴住居、古墳、奈良時代のかまどのある家や倉庫、平安時代の製鉄炉の「ふいご」がある。製鉄（相馬地区は砂鉄産地）の体験学習も行っている。



ボランティアさんから古墳の説明を聞く

室町時代の豪族の館の櫓門も復元。広いから何でも出来る。総合施設。考えられない企画力だ。

6、白河の関

奥州三関所の一つ。古代陸奥の国の玄関口。奥州、蝦夷警備で要衝の地。律令時代に「勿来の関」とともに、蝦夷に対する防衛を目的の「軍事的な関」。

時代を経て重要度は変化、奥州道中「白坂越えルート（白河市）」がメインの道になり、江戸時代には、場所の特定も難しくなる。

他の奥州三関所は

1、福島県 いわき市勿来関

浜街道 水戸→仙台

2、山形県 鶴岡市鼠ヶ関⇨念珠関

北国街道 新潟→山形県

白河の関跡に現存の空堀は、当初、皆として機能されていたことが確認でき重要。又歌が多く残っていることで著名。有史以来の重要度を含め国指定史跡価値は十分。

（感想）

今回の研修旅行は色々の新しい発見があった。福島県の広い空間と財力。羨ましい限りである。

話は余談になるが、福島県を訪れる前、故郷富山県を訪れた。現在北陸新幹線の工事跡から円墳（上梅沢遺跡）が発見されていた。県東部では珍しい円墳だった。直径20m位（3世紀）の円墳である。その付近から住居跡、かまど跡（7世紀）がでていた。調査が終わり、埋め戻し直前である。

責任者が近寄ってきて説明してくれた。カマドや調理用の土器が良好な状態

態で見つかったと教えてくれた。蒸し器の甑、煮炊き用の甕、これを支える支脚の話聞いた。此のとき初めて煮焚きの具体的なことが解った。これが福島県立博物館で役立つたのである。驚いたのは、下宅部遺跡に話が移った時の学芸員の顔、「あの有名な遺跡

— 大安場史跡公園 —

エールそして想う事など

伊藤友己

「このですか」と言われて。私は相手
が知らないと思っていたので吃驚した
のである。下宅部遺跡にボランティアと
して関わり、下宅部遺跡の重要性を再
認識し、5年間関わったことの感慨と
感謝の思いとなったのである。今後も
ボランティアを続けて行きたい。

「下宅部遺跡はっけんのもりを育て
る会」では、毎年秋に一泊で行ける距
離で、縄文の遺跡を中心に、博物館や
遺跡公園での研修見学会を行なってい
ます。事務局を勤めて頂いているふる
さと歴史館のご努力のお陰で、毎回そ
れぞれの見学地でボランティアの方々
とお話しの機会を持つことが出来、私
達が活動を続けていくうえで貴重な情
報源になっています。



ボランティアさんの展示説明

今回訪問した大安場史跡公園は今年

の4月にオープンした施設で、当日も
意欲のあるボランティアの方々が多い
参加して下さいました。ここで逆に
私達の活動についての質問を頂きまし
た。考えてみると、これは初めての事
です。聞いて参考にさせて頂くことは
有っても、私達の活動が、他のボラン
ティア組織の参考になるとは思っても
見ませんでした。

「5年以上も続けられた理由は何で
すか？」という質問を頂いた時に、ふ
と長い絵巻物を手繰っていきついで、
私達の活動の原点と、長い間続いてき
た少しばかり不如意な活動実体が思い
起こされてきたのです。遺物が埋まっ
ている公園を守り続け、体験学習の場
として使うという活動が私達の大きな
活動の内容でしたが、同時に遺跡の価値
と意味を伝えたいという活動は、遺
物の展示や収蔵のための施設の不備か
ら、私達には手の届かぬ夢のような話
でしかありませんでした。

今回5月に下宅部遺跡の近く旧民家
園の跡にオープンした「八国山たいけ
んの里」のお陰で、私達は初めて下宅
部遺跡の価値を市民を始め、施設を訪
れて頂ける多くの方々にお伝えする語
り部の役どころを得ることが出来たの
です。ですから私達こそ上安場史跡公



見学後の意見交換会

園のボランティアの皆様には、ガイドを
する心得などお聞きする事が沢山あつ
た筈なのに、思わぬ質問にフツと昔
語りの想いに浸ってしまったのです。

何が遺跡公園を護り、遺跡の語り部
になりたいと思わせるのでしょうか？
好きという言葉では言い表せないよう
な、何か妙に勿体ぶった思いもありま
す。意見交換の席で仲間が話した仲間
達の輪やら、続けて行くことの楽しさ
やら答えは幾通りもあるようで、それ

でいながら私はやはり「伝えていかなければいけない」というへんこりんな使命感に行き着いてしまうのです。特定の私だから出来るという言葉ではなく、「下宅部の遺産に出会った人は誰に関わらずその価値を伝えて行

かなくてはいけないね」という想いで。郷土に生きる人間が郷土の価値を伝え続けて行く、多分そういう事なのだと思つたのです。 大安場史跡公園ボランティアの方々の初々しさも自信に満ちた対応に接し

ながら、私達もそろそろ自分たちの価値を伝えることの出来るボランティアに成長して行かなくてはならないといふ思いを深くしました。

いけんの里に通い始めたのも、東村山がどういつころなのか、せっかく住んでいるのだからくわしく知りたいと思つたのがきっかけでした。

職員、地域住民が協働してミュージアム、そしてまちを創り上げていくところにミュージアムボランティアの醍醐味があると感じています。八国山たいけんの里の「はっちこつくメイト」がこれからどのように展開していくか、その将来がとても楽しみです。今後ともご指導をよろしく願ひいたします。

ーまほろん（福島県文化財センター白河館）ー ミュージアムボランティアの醍醐味

はっちこつくメイト 横山浩司

このたびは、「下宅部遺跡はっけんのもりを育てる会」の研修見学会に行かせていただき、ありがとうございました。仕事の都合で、まほろん見学だけの参加になりましたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。

り、市民ボランティアが活動しているミュージアムに出かけては、活動のよつすを職員やボランティアに伺つてい

トがほしいイベントをボランティアに知らせ、ボランティアが自分の興味に合わせて活動する体制をとっており、ボランティア独自の組織は作っていないということでした。見学当日はボランティアの活動がなく、活動のよつすを拜見できなかったのが残念

■まほろんのボランティア活動

ところで、私は一九九九年から七年間、歴史系博物館の展示ガイドボランティアに籍を置いています。そのとき、さまざまな課題にぶつかりました。そこで、ほかのミュージアムではどのように市民ボランティアが活動しているのかを調べたいと思うようにな

皆さまと別れた後、まほろんのボランティア活動について、職員の方に話を伺いました。まほろんは五年ごとに指定管理者が更新されるため、ボランティアの契約期間は五年です。今年四月に指定管理者が更新されたので、ボランティアの契約も四月から新たにになりました。現在四〇名ほど登録し、半数が前回からの更新、半数が新たな参加者です。六〇代以上の方が多く、月一回一時間ずつの活動が最低条件です。現在は、施設のほうからサポー

■ミュージアムボランティアの醍醐味
ご存知のように、全国津々浦々のミュージアムで、地域性豊かでオリジナリテイあふれるボランティア活動が展開されています。ミュージアムボランティアの良さは、自分の住んでいるまちのことを知ることができるところにあり、それが住みやすいまちづくりにつながっていくと私は考えています。私が八国山た



まほろんの屋外展示で古墳の説明を聞く

◎心ない人の情けない行為

またまた残念な事件が発生してしまいました。はっけんのもりの西側の園路に、自転車進入防止のために置いているコンクリート製の植え込みがあります。ここに植えていた花が、何者かによって、無残に押し潰されてしまいました。10月4日の日曜日に、潰されているのが見つかりました。少し前には、トイレの水道に付けていた、ホースを接続するためのジョイントが盗まれました。ささいなことのように見えますが、器物損壊や窃盗という犯罪を犯したのだということ、犯人には認識してもらいたいと思います。



無残に押し潰された花

……育てる会の仲間たちへ会員紹介その十一……

- 1 名前 岡部和人
- 2 住所 東大和市狭山
- 3 特技・興味あること 各時代の変革期における幕制の変化
- 4 育てる会に対する思い 入会したのが、今年の6月で、まだ5ヶ月しかたっていないのに、大きな顔をしている岡部です。
- 入会の切っ掛けは、「ふるさと歴史館」で売られていた『図録・みんなでつくるう！しもやけべ遺跡公園』に興味を持って、購入・バックナンバーの収集をしたのですが、意外と足下にある文化財の魅力には、なかなか気がつかないものでして、6月と9月の研修会でもなければ「文化財とは何か？」という事すら、余り考えなかったのではないかと思えます。
- これから下宅部遺跡と共に、全国で頑張っている博物館友の会の人や、ボランティアさん達との意見交換、等をして、下宅部遺跡をもっと、すばらしい遺跡公園にするために、諸先輩達から、諸々な事を学んで、もっと成長していきたい。

育てる会

今後の予定

育てる会 会員募集
みなさんも育てる会の仲間たちと一緒に、下宅部遺跡はっけんのもりを成長させませんか？
正会員：会費年間1200円
通信会員：会費80円切手12枚
お申し込み：ふるさと歴史館
☎042(396)3800まで



- 1 名前 栗山洋子
- 2 住所 東村山市荻山町
- 3 特技・興味あること ・とにかく映画を見るのが好きです（ジャンルは問わず）
・学生時代から好きな民芸品や工芸品を見て歩くこと
- 4 育てる会に対する思い 八国山たいけんの里のワークショップを通しての入会で、まだまだ勉強不足ですが、遺跡を守り維持するということ、皆さんの思いに少しでも近づけるよう、できることから参加させていたただきたいです

- 10月10日(土) 午前8時から
除草・清掃作業(はっけんのもり)
- 10月17日(土) 午前9時30分から
第90回育てる会「ドングリ拾い」
- 10月22日(水) 午後1時30分から
アンギン編み(八国山たいけんの里)
- 10月24日(土) 午前8時から
除草・清掃作業(はっけんのもり)
- ※雨天の場合は31日(土)に延期
- 10月24日(土) 午前10時から
縄文食作り(八国山たいけんの里)
- 10月25日(日) 午前9時30分から
縄文土器作り(八国山たいけんの里)
- 11月1日(日) 午後1時30分から
縄文土器作り(八国山たいけんの里)
- 11月3日(日) 午前10時から
東京都文化財ウィーク参加事業
「はっけんのもりへようこそ！」
(はっけんのもり)
- (八国山たいけんの里)
- 11月11日(水) 午後7時30分から
定例検討会議(ふるさと歴史館)
- ※日程変更の可能性あり
- 11月12日(水) 午後1時30分から
アンギン編み(八国山たいけんの里)